



PRESS RELEASE

2018年12月25日

特定非営利活動法人フィールドアシスタント

日本初の民間による模擬宇宙生活実験 「シラセ・エクスペディション」の概要を発表

特定非営利活動法人フィールドアシスタント（事務局：神奈川県横浜市、理事長：村上祐資）は、2019年2月23日からの約2週間、旧南極観測船「SHIRASE」の船内で火星へ向かう宇宙船を想定した「模擬宇宙生活実験」（SHIRASE EXP.0）を行います。これは将来の有人火星探査へ向けた知見を得るとともに、閉鎖環境での実験結果を地球上での日常生活へ還元することを同時に目指すものです。

今回の実験をもとに19年にはクルーを広く公募し、20年までに選考を行います。実験は21年以降計4回（SHIRASE EXP.1～4）を予定しています。

【SHIRASE EXP.0（シラセエクスペディション・ゼロ）の概要】

SHIRASE = Simulation of Human Isolation Research for Antarctica-based Space Engineering. EXP. = Expedition（探検）, Experiment（実験）, Experience（経験）。SHIRASE5002船内に完全に外部と隔離された「宇宙船エリア」を設け、その中で世界各国から集まる6～7名程度のクルーが約2週間にわたり共同生活をし、同じく船内の「地球エリア」につくる「管制室」から送られる様々なミッションをこなします。宇宙船内だけでなく、模擬宇宙服を着用して行う船外活動（EVA）も実施予定です。宇宙船と管制室との間の交信は、実際の火星でも想定される「往復6分のタイムラグ」の中で行います。閉鎖された環境で、様々な制約を抱えながら過ごす24時間体制のミッションを通し、肉体や人間関係への影響を調べることで、往復3年掛かるとも言われる将来の有人火星探査に向けた知見を得ることを目指します。またそこで見えてきた結果を宇宙だけでなく、人間生活の様々な場面に活用する試みを同時に進めます。

【スケジュール】

- 2019年 1月24日 計画概要事前説明・SHIRASE艦内見学会
- 2019年 2月22日 前日記者会見
- 23日 実験開始
- 3月 2日 管制室公開（午前10時～正午・クルーとの定時交信あり）
- 3日 管制室公開（午前10時～正午・クルーとの定時交信あり）
- 3月10日 実験終了（終了記者会見）

◆クルーについて

EXP.0の隊長はフィールドアシスタント代表の村上祐資が、副隊長はISSS（インドネシア宇宙科学協会）のベンザ・クリストが務めます。その他のクルーについては確定次第、追って発表いたします。

◆SHIRASE EXP.Webページ

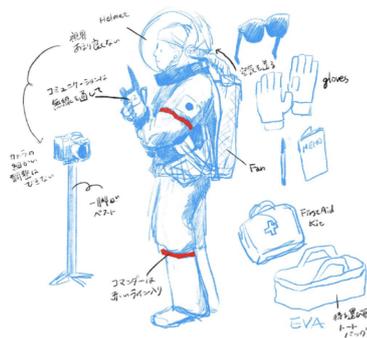
<https://www.fieldassistant.org/shirase>

【フィールドアシスタント代表・村上祐資について】

1978年生まれ、40歳。極地建築家。『地球上の厳しい環境の地にこそ、美しい暮らしがあるはずだ』そう信じて、第50次南極観測隊越冬隊として昭和基地での閉鎖生活を経験。近年はアメリカの火星協会が主催する「模擬火星実験」のクルーに日本人として唯一選ばれ、「日本で最も火星に近い男」と呼ばれるようになりました。今年10月に、日本での模擬実験を開始するために特定非営利活動法人フィールドアシスタントを設立しました。

★取材のご相談を承ります

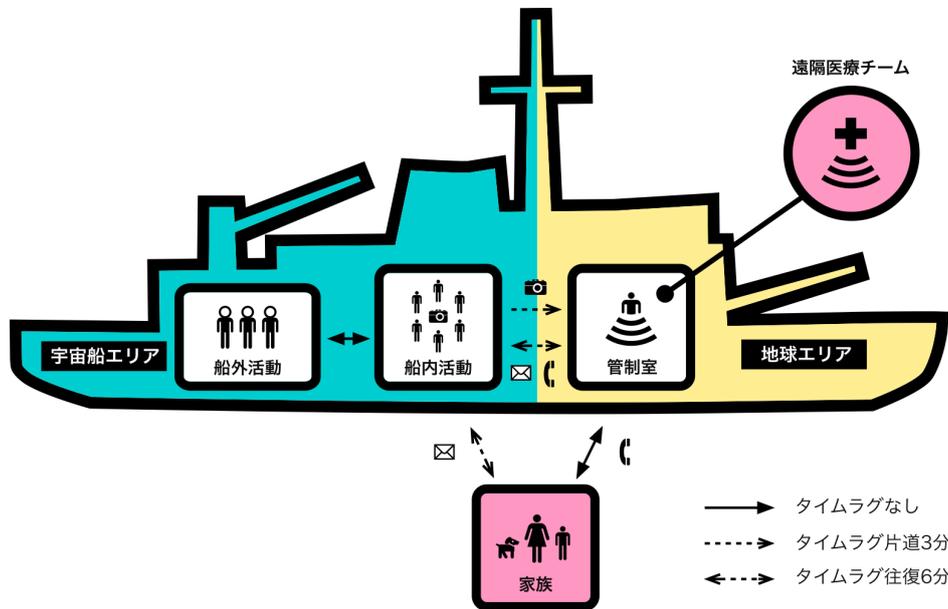
実験開始後は「宇宙船エリア」は完全に閉鎖されるため取材は原則できません。管制司令室での取材は上記公開日に限って対応可能です。取材を希望される方は、下記までご相談ください。その他の相談も受け付けさせていただきます。



宇宙服イメージ



「SHIRASE5002」 (WNI気象文化創造センター保有)



居住エリア（宇宙船エリア）



EVAエリア（船外活動エリア）



管制室（地球エリア）

【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 フィールドアシスタント

担当：栗原（くりはら）

Mail：kurihara@fieldassistant.org

TEL：090-1555-4336

FAX：03-3421-8008

URL：<https://www.fieldassistant.org>

★ **This is a Test Email only.**

This message was sent for the sole purpose of testing a draft message.